

第1回「新しい資本主義実現会議」提出資料

柳川範之

新しい資本主義の形

● 社会課題を、資本主義を通じて解決する そのための政策・仕組みづくり

- ・ 政府がすべて解決するのではなく民間と市場の力を活用
- ・ 民間側が直接課題を解決するルートも出来てきている
- ・ そのための適切なルールづくりが重要

社会課題のゴールとプロセスの見える化・データ化が重要
そうでないと、「マルチタスクの罠」にはまる

重点とすべきポイント

● 「人」を大切に作る資本主義の構築

- ・ 一人ひとりが付加価値生産性を高め、イノベーションを起こせる社会を築く
- ・ しっかりとした分配のためにも、成長のためにも、人の活躍が不可欠
- ・ 技能習得、能力開発は、どうしても過少になりがち
- ・ 日本社会、日本企業は、「人」を育てることを大事にしてきたはず
その重要性を改めて再確認、再認識する制度設計・政策が必要
- ・ そのための「官」と「民」の役割分担の再構築が必要
- ・ 当然、最先端の人材育成だけが、重要なわけではない
分厚い中間層の実現のためにも、中間層の能力アップが重要
非正規社員に対する技能習得・能力開発の機会を
「官」はもっと政策的に後押しすべきでは

- **新しいエコシステムの構築**

- ・ **取引関係の適正化**

- 取引関係で、分配の歪みが生じないようにする

- スタートアップ・ベンチャー企業の取引、知財権利

- イノベーション促進にしっかりつながるように

- ・ **新しい企業間関係、新しい資金の流れ、新しい人の流れを構築**

- より新しいチエが、社会全体のイノベーションにつながるように

- 若者等多様な人材が活躍できる機会を増やす 成長の大きなカギ

- そのための、デジタル活用・AI活用は不可欠

- 競争政策等の政策をそれに対応させる

- ・ これらを通じてマークアップ率を高め、付加価値生産性の成果を実現させる

- **複数のコミュニティ・複数の活躍の場**

- ・ **より多面的な安心の提供、より多様な選択肢が提供される社会へ**

- ・ **デジタル化・オンライン化はその新しい可能性を切り拓く**

- 地域の良さ、QOLの高さを生かした町づくりが可能に

- 地域居住・二地域就労は活躍の場、コミュニティの場

- の選択肢を増やす

- ・ **人の活躍面でも、地域活性化の面でも、新しい可能性がある**

- それを活かす制度設計、政策や規制のあり方が問われる